

お礼とご報告

このたびは第九回北三陸「じもつと基金」に温かいご支援とご協力を賜り、大変感謝いたします。これまで認知症に焦点を当てた活動を行って、認知症本人の会や家族の会の立ち上げを行い（令和5年）、今年度は高齢者の活躍に期待してボランティア養成講座を実施し、十四名のボランティアと一緒に、「月1カレーの日」で食を通じた多世代交流事業に取り組んでいます。

子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できます。従事者は高齢者や高校生ボランティア、引きこもりがちな高齢者さんや認知症の方に声をかけて、一緒に活動しています。食べに来てくださる方にとっても従事者にとっても、笑顔の絶えない居心地の良い交流の場になっています。

皆様から頂いたご寄付は、「月1カレーの日」に使用する食器や鍋等を保管する食器棚や食器用のテーブルや椅子の購入費用として、活用させていただきました。

この事業は、人と人を繋ぐ地域の居場所であり、誰でも活躍できる場所として、様々な関係機関から繋がってきます。幼児と高校生、高齢者が一緒に遊ぶ光景は、周囲の癒しになっています。

今後は、この繋がりを大事にしながら、ゆっくりと交流・活躍できる地域の居場所として充実させていくとともに、新たな事業展開ができるのではないかと夢が広がっているところです。

縁カフェとりんは、一、多世代の方が孤立せず人と繋がり、二、様々なことに挑戦すること、で生きがいや楽しみや仲間を見つけ、三、関係づくり（お互いを理解し、助け合う事）ができるよう、事業の充実を図っていききたいと思えます。

皆様も、お身体をご自愛されますとともに、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

令和七年二月

特定非営利活動法人 元気でらす縁

理事長 根井 明美